



Title	シンポジウム - 法社会学理論の現在 - 目次
Citation	北大法学論集, 48(5), 95-95
Issue Date	1998-01-16
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/15744">http://hdl.handle.net/2115/15744</a>
Type	bulletin (article)
File Information	48(5)_p95-95.pdf



[Instructions for use](#)

## 法社会学理論の現在

第一報告 社会紛争、「内在的」法文化、現代法の二重の傾向

第二報告 ヨーロッパにおける法社会学の現状

第三報告 コミュニタリアン・リベラリズム法学

ヴィンチェンツォ・フェラーリ

ジャン・ヴァン・ハウト

フィリップ・セルズニック

一九九五年八月一日―四日に国際法社会学会 (Research Committee on Sociology of Law, International Sociological Association) 年次大会が東京で開催され、世界の著名な法社会学者が来日した。その機会に、ヴィンチェンツォ・フェラーリ (ミラノ大学教授、九〇―九四年国際法社会学会会長)、ジャン・ヴァン・ハウト (アントワープ大学教授、八二―九〇年国際法社会学会会長)、フィリップ・セルズニック (カリフォルニア大学バークレー校名誉教授) の三名を北大にも招き、七月二五日に「法社会学理論の現在」というタイトルで北大法学会シンポジウムが開催された。以下は、その三名の講演の翻訳である。